

# 東京農業大学稲花小学校

学校だより【2023年1月16日】第151号



## 寒さに負けない

農大稲花小は午前中に1回の中休み、そして給食の後には昼休みがあります。どちらも長いものではないのですが、子どもたちはとても楽しみにしているようです。どんなに寒い日でも、教室からたくさん子どもたちがグラウンドに集まってきます。廊下を走るのは当然ながら禁止なのですが、これを止めるのは中々大変なくらい、グラウンドに走り出て行きます。また、この時期でもワイシャツやブラウス一枚で、中には半袖で遊びに出てくる子どももいるのです。寒さに負けない子どもの様子を、教員も元気をもらう毎日です。

## 図書室も人気です

休み時間、グラウンドやサブグラウンドだけでなく、体育館、図書室で過ごすこともできます。密にならないように学年や組が曜日や時間帯で割り当てられていますが、昼休みに図書室に来る子どもたちも開室が待ちきれない様子です。お目当ての本を読んだり、借り出したりするためです。貸出業務や本の整理を手伝ってくれる子どももいます。毎朝、朝読書の時間がある農大稲花小の子どもたちには、本好きが多いと感じています。ただ、本好きは学校での働きかけだけでは、育ちません。本好きな保護者と一緒に、家庭でも本を楽しんでいる子どもたちの様子が想像できるのは、うれしいことです。

## 避難訓練

3学期が始まったのを機会に、1月13日(金)に全校で避難訓練を行いました。給食室からの火災発生を想定し、各教室からグラウンドへ避難することとしました。児童に避難の仕方を理解させるとともに、教職員も避難の流れや役割分担を確認する大切な機会です。放送の指示と教員の指示をしっかりと聞いた子どもたちは、ハンカチを鼻や口元に当てて、教室から避難してきます。避難時の約束「お・か・し・も」すなわち「お：押さない」「か：かけない」「し：しゃべらない」「も：戻らない」を守って、真剣な表情の子どもたちでした。全員避難完了の報告があるまで5分程度と、素早い避難ができました。

新しい校舎ですので、構造的には地震にも火事にも強い農大稲花小です。しかし、油断はしたくありません。また、地震や火事などの災害は学校にいる時だけに起きるとは限りません。どのような場所でも冷静に、行動できる子どもであってほしいと思います。

工事などで構造が変わる駅もあり、また、人の流れは季節や時間帯によっても違います。通学路の安全については、ご家庭でも学期ごとを目途に実際の様子をご覧いただき、子どもと共に話し合ってくださいようお願いしています。

東京農業大学稲花小学校  
校長 夏秋 啓子